



令和5年度有田市立系我小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子供の育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる。
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる。
- たくましく健やかな体を育てる。
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情を育む。

保護者・地域の願い

- 心身ともに健康で、たくましく、命を大切にできる子
- 真摯な態度で学習に励む子
- 素直で明るい子
- 自ら考え、正しく判断し、行動できる子
- 郷土を誇りに思い、愛する子

【学校教育目標】

郷土を愛し、未来を拓く子を育てる

【めざす児童像】

- (1) 自ら進んでよく考える子
- (2) 郷土を愛し、優しく思いやりのある子
- (3) 健康で明るくたくましい子
- (4) ねばり強くやり遂げる子

前年度の学校評価

- 子供一人一人を大切にし、授業で教材等を工夫して、わかりやすい授業を行っている。
- ICTを活用した授業が充実してきた。
- 学校は情報を発信し、家庭や地域と協力・連携した取組ができています。
- いじめのない学校・クラスづくりの取り組み方に課題がある。
- 学習内容の理解や学力の定着に課題がある。

児童の実態

- 上級生が下級生の面倒をよく見る。
- タブレットを扱うスキルが伸びてきている。
- 挨拶ができる児童がふえてきている。
- 読解力・表現力に課題がある。
- 自尊心が低い。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎確かな学力を育む授業研究の推進
- 学習規律と家庭学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- 基礎基本の確実な定着と、主体的・対話的な学びを実現するための授業研究を進める。
- ICTの利活用をとおして個別最適な学びと協働的な学びが一体化した授業実践を進める。
- 全国学調や県・市内学調等の結果分析を活用した授業改善。
- 「学習の約束」等により、学習に向かう姿勢や習慣を定着させる。
- 朝読書や授業での図書館の活用、図書ボランティアによる支援等により、児童の読書活動を活性化する。

指標

- ・「授業内容がよくわかる」で児童の割合が90%以上
- ・「わかりやすい授業をしている」で保護者の割合が90%以上
- ・「主体的・対話的な学びのある学習を充実させている」で教員が90%以上

豊かな心の育成

- 豊かな体験活動の推進
- 道徳・人権教育の充実
- ◎認め合い励まし合い、自己有用感を高める活動の推進

- 互いを尊重し合う、居心地のいい学級作りを進める。
- 元気なあいさつができる児童を育てる活動を展開する。
- 定期的な調査や相談活動、保護者との連携等により、いじめや不登校の未然防止・早期対応に努める。
- 縦割り班活動や、地域と連携して、心を耕す活動を充実させる。
- 情報モラルを指導し、保護者へも啓発を行う。

- ・「学校が楽しい」で児童の割合が95%以上
- ・「挨拶ができています」で児童、教員の割合が95%以上
- ・「自分には良いところがある」で児童の割合が90%以上
- ・「学校はいじめのない学校・クラスづくりの取組を行っている」で保護者の割合が90%以上

健やかな体の育成

- 自己管理能力の高い児童の育成
- ◎健康で安全な生活習慣の定着

- 体力テストの結果を生かして体力づくりや体育の授業改善を進める。
- 病気や事故、災害等から自らを守るための保健教育、安全教育を充実させる。
- 歯の大切さを意識して歯を磨く習慣を付ける。
- 給食をとおした食育の推進を図る。
- 家庭と連携し「早寝・早起き・朝ごはん」や、健康保持に必要な睡眠時間確保の習慣化を図る。

- ・規則正しい生活に関する項目で児童の割合が90%以上
- ・「学校は安全に配慮している」で保護者の割合が90%以上
- ・「子供の健康管理・体力向上の取組を行っている」で保護者割合が90%以上

地域とともにある学校

- ◎保護者や地域との連携を密にした学校づくり
- 地域の人材や資源を有効に活用する教育の推進

- 従来の地域活動を教育課程に位置付け、活動と学びを充実させる。
- 中学校区における小中連携を推進する。
- 学校だよりや学級だより、ホームページ等での積極的な情報発信。
- 関係機関を活用した避難訓練や安全教育の推進。
- スタートカリキュラムの活用や保育所との交流活動を通し、保幼小の連携・接続の推進を図る。

- ・学校は適切に情報発信していると答える保護者の割合が90%以上
- ・学校は、家庭や地域と協力・連携していると答える保護者の割合が90%以上

◎：特に重点的に取り組むこと